

法人コード	A011908
-------	---------

令和元年7月30日

内閣総理大臣

安倍 晋三 殿

法人の名称 一般社団法人日本建築美術工芸協会

代表者の氏名 岡本 賢

公益目的支出計画実施完了確認請求書

公益目的支出計画の実施が下記の日に完了したので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第124条の規定により、公益目的支出計画の実施が完了したことの確認を請求します。

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 平成31年3月31日

【別紙1:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【平成30年度(平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額		12,715,292 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(+ -)		15,390,702 円
	前事業年度末日の公益目的収支差額	12,423,900 円
	当該事業年度の公益目的支出の額	5,852,002 円
	当該事業年度の実施事業収入の額	2,885,200 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額		-2,675,410 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注		
<p>計画作成時点の見込みに比べ、継1.2.3における実施事業収入の額が見込みを下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を上回ったものである。なお、公益目的支出計画の実施期間があと5年間である一方、公益目的収支差額の計画額との差額は3,781,292円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。</p>		

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	. 計画上の完了見込み	令和5年3月31日
	. より早まる見込みの場合	平成31年3月31日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	12,715,292 円	12,715,292 円	12,715,292 円	12,715,292 円	12,715,292 円
公益目的収支差額	7,445,000 円	12,423,900 円	8,934,000 円	15,390,702 円	10,423,000 円
公益目的支出の額	5,289,000 円	4,681,459 円	5,289,000 円	5,852,002 円	5,289,000 円
実施事業収入の額	3,800,000 円	1,693,600 円	3,800,000 円	2,885,200 円	3,800,000 円
公益目的財産残額	5,270,292 円	291,392 円	3,781,292 円	-2,675,410 円	2,292,292 円

前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 1	調査研究事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
都市景観、街並みに係る芸術的環境の創造と保存に関する調査研究を行い、その成果により学術・技術の振興を計る。	
研究担当者	
会 員：都市計画・建築計画・ランドスケープデザイン等学識経験を有する会員 七字祐介(元大成総研代表)、日高單也(元日本大学生産工学部教授) 佐藤建吉(千葉大学教授)、小野行雄(元東京造形大学教授)、 高柳登美(ランドスケープデザイナー)、他 非会員：テーマに応じ、作家・学識経験者に研究参加を要請している。	
<研究テーマ>	
(1)パブリックアートの調査研究 aパブリックアートとは b国内景観に関する表彰制度調査 c海外でのパブリックアートの事例研究 dパブリックアートの意義と評価の調査研究 (2)水面から見た東京の景観の調査 (3)文化芸術と都市空間の調査 (4)バランス創造科学と人の科学の調査研究 (5)エコロジーとアートの調査研究 (6)地域風土に根ざした文化活動の調査	
当該事業に係る公益目的支出の見込額	225,000 円
当該事業に係る実施事業収入の見込額	100,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
30年度の実施状況	
・調査研究事業 1) 研究テーマを「パブリックプレイスとアート」と設定し四つの分科会として委員を配分し研究活動を行った。 バランス創造科学と人の心の科学 研究者 小野行雄 エコロジーとアート 研究者 山本 誠 佐藤建吉 地域風土に根差した文化芸術活動 研究者 七字祐介 二井 進 評価・政策システム 研究者 南 三一郎 2) 設立30周年記念講演会の実施 第1回 平成18年7月10日開催 「現場からの提言～パブリックアートの現在」 講師：桂 有生(横浜市都市デザイン室) 山重徹夫(アート・ディレクター) 浅見俊哉(アーティスト) 第2回 平成18年3月19日開催 「地域にねざした文化芸術活動・宇都宮」 講師：中川 武(建築史家・博物館明治村館長)	
当該事業に係る公益目的支出の額	1,197,113 円
当該事業に係る実施事業収入の額	784,500 円
(-)の額	412,613 円
当該事業に係る損益計算書の費用の額	1,197,113 円
当該事業に係る損益計算書の収益の額	784,500 円
及び に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
前述の通りの結果、差引287,613円計画比増だが、今期全体の公益目的支出計画1,489,000円に与える影響は軽微。	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の 収益の額	実施事業 収入の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
調査研究事業収入	784,500円	784,500円	トーク・セミナー参加費1,000
	円	円	
	円	円	
計	784,500円	784,500円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の 費用の額	公益目的 支出の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	1,197,113円	1,197,113円	(1) 蘭と(2) 欄の額が異なる費用科目はない。
	円	円	
	円	円	
計	1,197,113円	1,197,113円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 2	表彰・展覧会事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p><事業の目的></p> <p>都市景観、街並み等の質的向上と保存にすぐれた業績に対する表彰事業と、社会の文化力向上の振興としての展覧会事業が、協会の主目的に合致する共通の手段と位置づけられていることから一つにまとめた。</p> <p><実施事業></p> <p>(1) AACA賞・芦原義信賞の表彰事業 公募により応募された建築、美術、工芸、ランドスケープなど様々な分野が協力し、融合して創造された文化的環境と美しい芸術的景観を対象とする協会賞であり、修景や修復、復元作業によって現出した歴史的景観も含まれます。 AACA賞はこの様な優れた景観を実現させた個人・グループ・団体を毎年表彰する賞で、芦原義信賞は特に新人を対象にした賞としている。</p> <p>・実施組織 AACA賞・芦原義信賞選考委員会(平成24年度) 会員・非会員に関らず、賞の目的に合う見識を持った方々に理事会から委嘱 選考委員長 芦原太郎(建築家・芦原太郎建築設計事務所代表) 選考委員 岩井光男(建築家・元三菱地所設計) 大成 浩(彫刻家・日本美術連盟理事) 岡本 賢(建築家・久米設計) 加藤貞雄(美術評論家) 近田玲子(照明デザイナー・近田玲子デザイン事務所) 藤江和子(インテリアデザイナー・藤江和子アトリエ)他2名</p> <p>・選考方法 一般・会員よりの応募を受け、一時書類選考により二次選考対象作品を選出、二次選考では作品の現地審査を行い、最終選考会にて各賞作品を決定する。</p> <p>・表彰方法 毎年12月に開催される設立記念会において表彰する。</p> <p>・成果の発表 美術・建築関係新聞雑誌に記載するほか、写真集を作成し、応募者・会員・関係者、また総会・展覧会・講演会等にて参加者に無償で配布する。</p> <p>1. 特別功労賞 協会活動にあたり、顕著な成果を残された正会員及び永年勤続職員に対し表彰する賞とする。</p> <p>・選考方法 表彰委員会より選考され、理事会に推薦・承認された会員及び職員。</p> <p>・表彰方法 毎年6月に開催される通常総会において表彰する。</p> <p>2. AACA会員展(年2回) 協会に所属する個人会員・法人会員および一般公募による展覧会で、分野を越えて交流することを目的とした展覧会で入場無料とする。</p> <p>・成果の発表 会報・HPに作品を掲載する。</p> <p>3. AACA企画展(年1回) 国内外から企画に合わせた作品を公募し、成果を競う展覧会で入場は無料。企画に応じ、開会式において優秀作品に賞を与える場合もある。</p>	
当該事業に係る公益目的支出の見込額	4,079,000 円
当該事業に係る実施事業収入の見込額	3,300,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

30年度の実施状況

・表彰事業

第27回AACA賞・芦原義信賞受賞者紹介のつどい が開催された。

第1回 平成30年4月24日

近畿大学 ACADEMIC THEATER: 畠山文聡・岡 俊徳

一華寺 無尽塔: 宮森洋一郎

洗足池の家 / MONOLITH: 城戸崎博孝

特別養護老人ホーム 成仁ハウス 百年の里: 内藤将俊

第2回 平成30年6月4日

ニフコ YRP 防爆棟・実験棟: 越野達也

桐朋学園大学 調布キャンパス1号館: 笹山恭代

星のや東京: 清水 聡・東 利恵

四国八十八ヶ所へんろ小屋 プロジェクト: 歌 一洋

第28回AACA賞・芦原義信賞 の表彰事業を実施した。

応募作品数は41作品、第一次審査によりその中から15作品を現地審査対象として選別、第二次審査(公開)で受賞作を決定した。

AACA賞 本賞 「出島 新表門橋」

優秀賞 「越後妻有文化ホール・十日町中央公民館(段十ろう)」

奨励賞 「川崎技術開発センター」

「伊根の舟屋」

特別賞 「薬師寺食堂」

芦原義信(新人)賞 「梅郷礼拝堂」

設立30周年記念美術工芸賞

「越後妻有文化ホール・十日町中央公民館(光織り)」

表彰式は 平成30年12月12日開催の設立30周年記念総会にて行われた。

・展覧会事業

・会員展 平成30年度「BOX展」

テーマ「20cm×20cm×20cmの空間を遊ぶ」

当該事業に係る公益目的支出の額	3,442,048 円
当該事業に係る実施事業収入の額	2,091,000 円
(-)の額	1,351,048 円
当該事業に係る損益計算書の費用の額	3,442,048 円
当該事業に係る損益計算書の収益の額	2,091,000 円
及び に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	

前述の通りの結果、差引572,048円計画比増だが、今期全体の公益目的支出計画1,489,000円に与える影響は軽微。

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した 「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の 収益の額	実施事業 収入の額	の額の算定に当たったの考え方 ^{注3}
----------	----------------	--------------	------------------------------

展覧会等事業収入	871,000 円	871,000 円	会員展・国際コンペティション参加費・協賛金
表彰事業収入	1,220,000 円	1,220,000 円	応募登録料・芦原建築研究所負担金
雑収入	円	0 円	その他
	円	円	
	円	円	
計	2,091,000 円	2,091,000 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たった考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の費用の額	公益目的支出の額	の額の算定に当たった考え方 注4
その他	3,442,048 円	3,442,048 円	(1) 欄と(2) 欄の額が異なる費用科目はない。
	円	円	
	円	円	
計	3,442,048 円	3,442,048 円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	3	広報・IT事業

(1) 計画記載事項

事業の概要					
<p>情報誌・ホームページを通じ、各事業活動の成果及び課題等を社会に公開し、芸術的環境の創造と保存に関する活動の啓蒙を計る。</p> <p><事業の目的> 協会活動の社会への発信の為、情報誌・発行及びインターネットを活用した事業が共通する為、一つにまとめた。</p> <p><実施事業> (1)情報誌の刊行(1,000部・無償配布) 協会・委員会・会員の活動報告を情報誌に掲載し、会員及び一般社会に配布、成果を伝達する。</p> <p>(2)IT事業 協会・委員会・会員の活動報告をホームページに掲載し、会員及び一般社会からのアクセスにより、成果を伝達する。</p> <p><成果の発表></p> <table border="1"> <tr> <td>当該事業に係る公益目的支出の見込額</td> <td>985,000 円</td> </tr> <tr> <td>当該事業に係る実施事業収入の見込額</td> <td>400,000 円</td> </tr> </table>		当該事業に係る公益目的支出の見込額	985,000 円	当該事業に係る実施事業収入の見込額	400,000 円
当該事業に係る公益目的支出の見込額	985,000 円				
当該事業に係る実施事業収入の見込額	400,000 円				

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について											
<p>30年度の事業実施状況</p> <p>・広報事業 「景観シンポジウム」「設立30周年記念事業」実施に際し関係団体・新聞社・建築・美術系出版社等に告知し記事掲載を要請した。</p> <p>・刊行事業 30年7・10月及び31年1月に情報誌 会報80・81・82号を刊行し、会員関係団体へ送付した。</p> <p>・寄稿会員の希望により、会員からの配布用に会報を販売した。</p> <p>・IT事業 ホームページのリニューアルの結果、内容の充実・協会・会員の活動告知等活用度が向上し、会員はもとより一般閲覧者からのアテンドが増加した。</p> <p>バナー広告の更新により</p> <p>当該年度の決算状況</p> <table border="1"> <tr> <td>当該事業に係る公益目的支出の額</td> <td>1,212,841 円</td> </tr> <tr> <td>当該事業に係る実施事業収入の額</td> <td>9,700 円</td> </tr> <tr> <td>(-)の額</td> <td>1,203,141 円</td> </tr> <tr> <td>当該事業に係る損益計算書の費用の額</td> <td>1,212,841 円</td> </tr> <tr> <td>当該事業に係る損益計算書の収益の額</td> <td>9,700 円</td> </tr> </table> <p>及び に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由^{注1}</p> <p>前述の通りの結果、差引618,141円計画比増だが、今期全体の公益目的支出計画1,489,000円に与える影響は軽微。</p>		当該事業に係る公益目的支出の額	1,212,841 円	当該事業に係る実施事業収入の額	9,700 円	(-)の額	1,203,141 円	当該事業に係る損益計算書の費用の額	1,212,841 円	当該事業に係る損益計算書の収益の額	9,700 円
当該事業に係る公益目的支出の額	1,212,841 円										
当該事業に係る実施事業収入の額	9,700 円										
(-)の額	1,203,141 円										
当該事業に係る損益計算書の費用の額	1,212,841 円										
当該事業に係る損益計算書の収益の額	9,700 円										

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{※2}	資産の名称	時価評価資産の算定日の時価	移行後に取得した場合の取得価額	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	

			円	円	円	円	
--	--	--	---	---	---	---	--

注2: 算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の収益の額	実施事業収入の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
刊行事業収入	9,700 円	9,700 円	企業広告・会員個展等広告掲載料
IT事業収入	0 円	0 円	HP広告掲載料
	円	円	
	円	円	
計	9,700 円	9,700 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の費用の額	公益目的支出の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	1,212,841 円	1,212,841 円	(1)欄と(2)欄の額が異なる費用科目はない。
	円	円	
	円	円	
計	1,212,841 円	1,212,841 円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

〔公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて〕

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
<p>他1 情報交流・講演会事業</p> <p>30年度の事業実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 「ローカリティ-を魅せるしつらえ」 平成30年10月1日 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館CSTホール 基調講演 進士五十八(福井県立大学学長) 講師 宮城俊作(PLACEMEDIA Landscape Architects Collaborative) 平賀達也(ランドスケープ・プラス代表) 原田麻魚(MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO) 鷲田めるる(キュレーター) 参加者 名 ・景観シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る」 平成30年10月1日 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館CSTホール 講師 陣内秀信(建築史家・法政大学特任教授) 中島直人(都市計画家・東京大学准教授) 三浦 展(マーケティングアナリスト) 松沢えり子(銀座街づくり会議事務局長) パネリスト 坂本博之(鹿島建設株式会社) 畑野 了(株式会社 日建設計) 山本 実(大成建設株式会社) 参加者 名 ・連続講演会 <ul style="list-style-type: none"> 「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る - GINZA SIX - 」 平成30年10月24日 サンゲツ品川ショールーム 講師 米田浩二(鹿島建設株) 坂本博之(") 参加者76名 ・連続講演会 <ul style="list-style-type: none"> 「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る - 東急プラザ銀座 - 」 平成30年11月20日 サンゲツ品川ショールーム 講師 畑野 了(株日建設計) 参加者76名 ・連続講演会 <ul style="list-style-type: none"> 「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る - GINZA PLACE - 」 平成30年12月17日 サンゲツ品川ショールーム 講師 山本 実(大成建設株) 参加者76名 ・第193回aacaフォーラム <ul style="list-style-type: none"> 「日本の布づくりと建築空間との関わり」 平成30年5月23日 サンゲツ品川ショールーム 講師 須藤玲子(テキスタイルデザイナー) 参加 85名 ・第194回aacaフォーラム <ul style="list-style-type: none"> 「ステンドグラスの本質～パブリックアートとしての展望～」 平成30年11月20日 サンゲツ品川ショールーム 講師 平山健雄氏(ステンドグラス作家) 参加 84名 ・第195回aacaフォーラム <ul style="list-style-type: none"> 「AI時代の手の仕事」 平成31年3月27日 サンゲツ品川ショールーム 講師 大橋正芳(東京都現代美術館 学芸員) 参加 52名 ・美味しい美術館見学会 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月8日 見学美術館 国立佐倉歴史民俗博物館、DIC川村美術館、佐倉市立美術館、 参加者 35名 ・建物視察会

建物視察会

「第13回aaca山梨・静岡地区建物視察会」

平成30年12月7・8日

視察建物 山梨文化会館、山梨県立図書館、山梨県立美術館、

富士ハーネス、世界遺産センター、韮山反射炉、

草薙体育館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、

ROKIグローバルイノベーションセンター、

参加者 35名

他2 組織交流事業

30年度の事業実施状況

・通常総会

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等^{注2}

該当するものなし

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。
また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

別表B (公益目的支出計画実施報告書)

【引当金等の明細】

(1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		事業		期末残高
					目的使用	その他	区分	番号	
1	退職給付引当金	6,291,000 円	297,000 円		円	円			6,588,000 円
		円	円		円	円			0 円
		円	円		円	円			0 円

(2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		期末残高
					目的使用	その他	
1	街なかミュゼ引当金	796,693 円	2,676,000 円		1,373,401 円	円	2,099,292 円
2	30周年事業引当金	574,082 円	4,500,000 円		574,082 円	円	4,500,000 円
		円	円		円	円	0 円

(3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたものの^注

番号	財産の名称	期首の価額	当期増加額	目的	当期減少額		期末の価額
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0 円
		円	円		円	円	0 円

注:算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のままにしてください。

平成30年度貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部				
1	流動資産			
	普通預金	19,454,504	18,120,837	1,333,667
	未収金	297,500	306,850	9,350
	賞牌	543,480	376,500	166,980
	仮払金	30,000	108,000	78,000
	流動資産合計	20,325,484	18,912,187	1,413,297
2	固定資産			
(1)	特定資産			
	退職給付引当資産	6,291,000	6,291,000	0
	賞牌準備積立資産	534,620	576,000	41,380
	特定預金	4,000,000	4,000,000	0
	特定資産合計	10,825,620	10,867,000	41,380
(2)	その他固定資産			
	什器備品	230,288	270,423	40,135
	敷金	1,913,760	1,913,760	0
	その他固定資産合計	2,144,048	2,184,183	40,135
	固定資産合計	12,969,668	13,051,183	81,515
	資産合計	33,295,152	31,963,370	1,331,782
負債の部				
1	流動負債			
	未払金	851,403	414,432	436,971
	次年度運営引当金	5,187,068	10,990,000	5,802,932
	預り金	234,567	218,865	15,702
	流動負債合計	6,273,038	11,623,297	5,350,259
2	固定負債			
	退職給付引当金	6,588,000	6,291,000	297,000
	賞牌準備引当金	200,000	0	200,000
	街なかミゼ引当	2,099,292	796,693	1,302,599
	30周年事業引当	4,500,000	574,082	3,925,918
	固定負債合計	13,387,292	7,661,775	5,725,517
	負債合計	19,660,330	19,285,072	375,258
正味財産の部				
1	一般正味財産	13,634,822	12,678,298	956,524
	(内特定資産への充当額)	(10,825,620)	(10,867,000)	41,380
	正味財産合計	13,634,822	12,678,298	956,524
	負債及び正味財産合計	33,295,152	31,963,370	1,331,782

附属明細書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
有形固定資産	パネルー式	88,661	0	0	12,589	76,072	522,428	598,500
	机・イスー式	84,143	0	0	11,948	72,195	495,805	568,000
	保管庫	71,625	0	0	10,170	61,455	422,045	483,500
	ラック	23,968	0	0	3,403	20,565	141,205	161,770
	ファックス	2,026	0	0	2,025	1	346,697	346,698
	計	270,423	0	0	40,135	230,288	1,928,180	2,158,468
無形固定資産								
	計							

2. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付	6,291,000	297,000	0	0	6,588,000
街なかミューゼ	796,693	2,676,000	1,373,401	0	2,099,292
30周年事業	574,082	4,500,000	574,082	0	4,500,000

3. 特定資産の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
定期預金	4,000,000	0	0	0	4,000,000

平成30年度正味財産増減計算書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	(370,000)	(520,000)	(150,000)
入会金収入	370,000	520,000	150,000
受取会費	(13,520,000)	(12,850,900)	(669,100)
個人会費収入	4,230,000	3,947,900	282,100
法人会費収入	9,290,000	8,903,000	387,000
事業収益	(20,634,600)	(6,701,846)	(13,932,754)
調査研究事業収	779,500	0	779,500
講演会等事業収	1,852,500	1,141,946	710,554
展覧会等事業収	1,292,400	897,300	395,100
情報交流事業収	3,920,500	3,509,000	411,500
表彰事業収入	1,220,000	965,000	255,000
刊行事業収入	9,700	164,600	154,900
IT事業収入	0	24,000	24,000
30周年記念事業	11,560,000	0	11,560,000
受取寄付金	(6,480)	(9,953)	(3,473)
募金収益	6,480	9,953	3,473
雑収入	(1,119)	(977)	(142)
受取利息	1,119	977	142
経常収益計	34,532,199	20,083,676	14,448,523
(2) 経常費用			
事業費			
事業経費	(20,967,807)	(11,091,350)	(9,876,457)
事) 外注費	3,964,464	2,738,873	1,225,591
事) 会議費	769,306	609,498	159,808
事) 謝金	622,661	89,096	533,565
事) 印刷製本費	1,328,397	1,029,979	298,418
事) 旅費交通費	1,280,905	763,430	517,475
事) 通信運搬費	619,485	737,695	118,210
事) 消耗品費	803,094	592,675	210,419
事) 賃借料	757,260	822,324	65,064
事) 記念事業費	5,104,527	0	5,104,527
事) 給料手当	4,876,930	3,100,000	1,776,930
事) 臨時雇賃金	24,198	24,198	0
事) 法定福利費	367,095	327,899	39,196
事) 雑費	449,485	255,683	193,802
事業費計	20,967,807	11,091,350	9,876,457
管理費			
管) 給料手当	1,305,450	1,232,000	73,450
管) 法定福利費	202,698	179,268	23,430
管) 福利厚生費	7,038	17,038	10,000
管) 旅費交通費	43,022	54,818	11,796
管) 通信運搬費	206,578	350,444	143,866
管) 減価償却費	40,135	47,884	7,749
管) 消耗品費	0	3,543	3,543
管) 賃借料	3,056,818	3,261,048	204,230
管) 水道光熱費	1,457,940	1,253,123	204,817
管) 支払報酬	723,000	685,152	37,848
管) 租税公課	70,600	81,440	10,840
管) 業務委託費	162,000	162,000	0
管) 雑費	80,589	165,015	84,426
管理費計	7,355,868	7,492,773	136,905
経常費用計	28,323,675	18,584,123	9,739,552
評価損益等調整前当期経常増減額	6,208,524	1,499,553	4,708,971
特定資産評価損益等	455,000	0	455,000
評価損益等計	455,000	0	455,000
当期経常増減額	5,753,524	1,499,553	4,253,971

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増減
2	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
(2)	経常外費用			
	その他経常外費用	(4,797,000)	(403,000)	(4,394,000)
	退職給付費用	297,000	233,000	64,000
	貸倒損失	0	170,000	170,000
	30周年事業費用	4,500,000	0	4,500,000
	経常外費用計	4,797,000	403,000	4,394,000
	当期経常外増減額	4,797,000	403,000	4,394,000
	税引前当期一般正味財産増減額	956,524	1,096,553	140,029
	当期一般正味財産増減額	956,524	1,096,553	140,029
	一般正味財産期首残高	12,678,298	11,581,745	1,096,553
	一般正味財産期末残高	13,634,822	12,678,298	956,524
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
	正味財産期末残高	13,634,822	12,678,298	956,524

平成30年度正味財産増減計算書内訳表

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位 : 円)

科	目	調査研究事業	表彰、展覧会事業	広報IT事業	実施事業等会計
一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益	(784,500)	(2,091,000)	(9,700)	(2,885,200)	
調査研究事業収	779,500	0	0	779,500	
講演会等事業収	0	0	0	0	
展覧会等事業収	0	871,000	0	871,000	
情報交流事業収	5,000	0	0	5,000	
表彰事業収入	0	1,220,000	0	1,220,000	
刊行事業収入	0	0	9,700	9,700	
30周年記念事業	0	0	0	0	
経常収益計	784,500	2,091,000	9,700	2,885,200	
(2) 経常費用					
事業費					
事業経費	(1,197,113)	(3,442,048)	(1,212,841)	(5,852,002)	
事) 外注費	272,240	39,020	221,880	533,140	
事) 会議費	77,329	379,798	660	457,787	
事) 謝金	200,466	0	0	200,466	
事) 印刷製本費	32,305	220,925	411,880	665,110	
事) 旅費交通費	198,470	747,648	23,005	969,123	
事) 通信運搬費	59,336	137,237	87,984	284,557	
事) 消耗品費	3,852	541,870	1,512	547,234	
事) 賃借料	30,240	487,560	0	517,800	
事) 記念事業費	0	0	0	0	
事) 給料手当	291,280	788,330	440,300	1,519,910	
事) 臨時雇賃金	0	0	0	0	
事) 法定福利費	21,551	52,114	20,328	93,993	
事) 雑費	10,044	47,546	5,292	62,882	
事業費計	1,197,113	3,442,048	1,212,841	5,852,002	
経常費用計	1,197,113	3,442,048	1,212,841	5,852,002	
評価損益等調整前当期経常増減額	412,613	1,351,048	1,203,141	2,966,802	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額	412,613	1,351,048	1,203,141	2,966,802	
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
その他経常外費用	(0)	(0)	(0)	(0)	
30周年事業費用	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	412,613	1,351,048	1,203,141	2,966,802	
当期一般正味財産増減額	412,613	1,351,048	1,203,141	2,966,802	
一般正味財産期首残高	1,150,588	7,884,433	8,299,766	17,334,787	
一般正味財産期末残高	1,563,201	9,235,481	9,502,907	20,301,589	
指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	
正味財産期末残高	1,563,201	9,235,481	9,502,907	20,301,589	

(単位 : 円)

科	目	情報交流事業	組織交流事業	その他会計
一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	(4,165,000)	(13,584,400)	(17,749,400)	
調査研究事業収	0	0	0	
講演会等事業収	1,852,500	0	1,852,500	
展覧会等事業収	0	421,400	421,400	
情報交流事業収	2,312,500	1,603,000	3,915,500	
表彰事業収入	0	0	0	
刊行事業収入	0	0	0	
30周年記念事業	0	11,560,000	11,560,000	
経常収益計	4,165,000	13,584,400	17,749,400	
(2) 経常費用				
事業費				
事業経費	(5,702,073)	(9,413,732)	(15,115,805)	
事) 外注費	2,513,021	918,303	3,431,324	
事) 会議費	213,352	98,167	311,519	
事) 謝金	422,195	0	422,195	
事) 印刷製本費	356,057	307,230	663,287	
事) 旅費交通費	181,986	129,796	311,782	
事) 通信運搬費	156,737	178,191	334,928	
事) 消耗品費	1,601	254,259	255,860	
事) 賃借料	51,000	188,460	239,460	
事) 記念事業費	259,200	4,845,327	5,104,527	
事) 給料手当	1,269,170	2,087,850	3,357,020	
事) 臨時雇賃金	0	24,198	24,198	
事) 法定福利費	133,026	140,076	273,102	
事) 雑費	144,728	241,875	386,603	
事業費計	5,702,073	9,413,732	15,115,805	
経常費用計	5,702,073	9,413,732	15,115,805	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,537,073	4,170,668	2,633,595	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,537,073	4,170,668	2,633,595	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
その他経常外費用	(4,500,000)	(0)	(4,500,000)	
30周年事業費用	4,500,000	0	4,500,000	
経常外費用計	4,500,000	0	4,500,000	
当期経常外増減額	4,500,000	0	4,500,000	
税引前当期一般正味財産増減額	6,037,073	4,170,668	1,866,405	
当期一般正味財産増減額	6,037,073	4,170,668	1,866,405	
一般正味財産期首残高	2,227,835	9,441,594	11,669,429	
一般正味財産期末残高	8,264,908	5,270,926	13,535,834	
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	8,264,908	5,270,926	13,535,834	

平成30年度正味財産増減計算書内訳表

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位 : 円)

科 目	法人会計	
	法人会計	小計
一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	(370,000)	(370,000)
入会金収入	370,000	370,000
受取会費	(13,520,000)	(13,520,000)
個人会費収入	4,230,000	4,230,000
法人会費収入	9,290,000	9,290,000
受取寄付金	(6,480)	(6,480)
募金収益	6,480	6,480
雑収入	(1,119)	(1,119)
受取利息	1,119	1,119
経常収益計	13,897,599	13,897,599
(2) 経常費用		
管理費		
管) 給料手当	1,305,450	1,305,450
管) 法定福利費	202,698	202,698
管) 福利厚生費	7,038	7,038
管) 旅費交通費	43,022	43,022
管) 通信運搬費	206,578	206,578
管) 減価償却費	40,135	40,135
管) 賃借料	3,056,818	3,056,818
管) 水道光熱費	1,457,940	1,457,940
管) 支払報酬	723,000	723,000
管) 租税公課	70,600	70,600
管) 業務委託費	162,000	162,000
管) 雑費	80,589	80,589
管理費計	7,355,868	7,355,868
経常費用計	7,355,868	7,355,868
評価損益等調整前当期経常増減額	6,541,731	6,541,731
特定資産評価損益等	455,000	455,000
評価損益等計	455,000	455,000
当期経常増減額	6,086,731	6,086,731
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
その他経常外費用	(297,000)	(297,000)
退職給付費用	297,000	297,000
経常外費用計	297,000	297,000
当期経常外増減額	297,000	297,000
税引前当期一般正味財産増減額	5,789,731	5,789,731
当期一般正味財産増減額	5,789,731	5,789,731
一般正味財産期首残高	41,682,514	41,682,514
一般正味財産期末残高	47,472,245	47,472,245
指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	0
正味財産期末残高	47,472,245	47,472,245

平成30年度 事業報告

2018年度の事業は次の通り実施致しました。

1、 一般主要事項

1) 通常総会

- ・平成30年度通常総会は 6月7日(木曜日)

17時45分～18時50分、建築会館ホールにて開催

- ・総会開催日 会員数372名、 総会成立定足数187名(総数の2分の1以上)

出席会員数 201名、

(出席数81名、議決権行使書提出85名、委任状提出35名)

定款に定められた定足数を超えているため、総会は有効と認められた。

- ・議長選任

定款15条の規定により会長 岡本 賢が議長に選任された。

- ・議事録署名人

定款18条の規定により、出席会員 中村茂幸氏、スタッフナインハット(株) 代表 堀田誠氏の2名に対し、議事録署名人に議長より指名があり承認された。

- ・議事

第一号議案 平成29年度 事業報告に関する件は東條専務理事より提案。

第二号議案 平成29年度 貸借対照表、正味財算増減計算書、財産目録及び収支計算書に関する件は石田理事・事務局長より提案。

又監事を代表して森田監事より平成29年度の事業及び会計監査報告があり、議長より採決を諮ったところ、第一号・二号議案は原案通り満場一致により承認可決された。

第三号議案 長期会費未納会員の取り扱いに関する件は石田事務局長より提案。

平成28年～平成30年の3年間会費未納会員3名に対し、書面にて継続の意思を確認したところ回答がなかった。従ってこの3名を退会者と扱うについて議長より採決を諮ったところ、第三号議案は原案通り満場一致にて承認可決された。

議長は、以上をもって本日の議事終了を宣言した。

- ・報告

1) 事務局長より 3月27日開催の平成29年度第五回理事会において、会長より提案され決議された「平成30年度事業計画、同 収支予算書」について報告があった。

- ・特別講演

「わたしと芦原義信先生」 澄川喜一

「文化庁新進芸術家海外派遣制度に内定して」 中島達哉

2) 設立30周年特別記念会

- 平成30年度 設立30周年特別記念式典、功労者表彰式、協会賞発表・表彰式、特別講演、懇親会は 平成30年12月12日(水曜日)15時～20時 建築会館大ホールにて開催。

来賓 文化庁 政策課文化発信室長 軸丸真二様

一般社団法人 日本建築学会 会長 古谷誠章様

公益社団法人 日本建築家協会 会長 六鹿正治様

一般社団法人 日本美術家連盟 理事長 山本 貞様

出席者 招待者・報道関係 12名、設立30周年特別表彰者 16名

受賞者・応募者 22名、建築学会楽友会 13名

会員・一般 83名

計150名

- 来賓祝辞

文化庁 政策課文化発信室長 軸丸真二様

一般社団法人 日本建築学会 会長 古谷誠章様

公益社団法人 日本建築家協会 会長 六鹿正治様

一般社団法人 日本美術家連盟 理事長 山本 貞様

- 設立30周年特別表彰者表彰式

澄川喜一、宇津野和俊、飯野毅一、松本哲夫、村松映一、坂上直哉、中島三枝子、スターCAM株式会社、AGC株式会社、株式会社 サンゲツ、

- 永年勤続者表彰式

浅野井尚子、

- 協会賞発表・表彰式、

第28回AACA賞 「出島表門橋」

作者：Ney & Partners Japan 渡邊竜一、Laurent Ney、
Eric Bodarwe、岡田裕司

DAIGRAM 鈴木直之／愚川知佳

優秀賞 「越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館（段十郎）」

作者：株式会社梓設計 永池雅人、鈴木教久、加藤洋平、

特別賞 「薬師寺食堂」

作者：

監修： 鈴木嘉吉

復元基本設計： 文化財保存計画協会 矢野和之/館崎麻衣子

内部基本設計： 伊東豊雄建築設計事務所 伊東豊雄

実施設計： 竹中工務店 野田隆史/本弓省吾

仏画： 田淵俊夫

須弥壇天蓋彩色：荒木かおり

照明計画：LIGHTDESIGN 東海林弘靖

奨励賞 「川崎技術開発センター」

作者：株式会社三菱地所設計

奨励賞 「伊根の舟屋」

作 者：京谷友也

芦原義信賞 「梅郷礼拝堂」

作 者：加藤詞史

30周年記念美術工芸賞 「越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館（光織り）」

作 者：高橋匡太

・特別講演 「建築家 芦原義信が残したもの」

芦原太郎建築設計事務所 所長 芦原太郎

3) 理事会

平成30年度理事会は次の日程により5回開催された。

第一回理事会	平成30年	5月16日	建築会館
第二回理事会	平成30年	7月18日	建築会館
第三回理事会	平成30年	10月18日	建築会館
第四回理事会	平成31年	1月23日	建築会館
第五回理事会	平成31年	3月20日	建築会館

4) 企画運営会議

平成30年度企画運営会議は次の日程により11回開催された。

4月企画運営会議	平成30年	4月20日（木曜日）	建築会館
5月企画運営会議	平成30年	5月10日（木曜日）	建築会館
6月企画運営会議	平成30年	6月14日（木曜日）	建築会館
7月企画運営会議	平成30年	7月12日（木曜日）	建築会館
9月企画運営会議	平成30年	9月13日（木曜日）	建築会館
10月企画運営会議	平成30年	10月11日（木曜日）	建築会館
11月企画運営会議	平成30年	11月15日（木曜日）	建築会館
12月企画運営会議	平成30年	12月19日（水曜日）	建築会館
1月企画運営会議	平成31年	1月17日（木曜日）	建築会館
2月企画運営会議	平成31年	2月14日（木曜日）	建築会館
3月企画運営会議	平成31年	3月14日（木曜日）	建築会館

（8月は非開催）

5) 理事・監事・委員・新入会員交流会

理事・監事・委員・新入会員交流会は次の日程により開催された。

夏季交流会（盛夏のつどい）	2018年8月27日
参加者	47名（新入会員 9名）丸の内ポールスター
新年交流会（新春のつどい）	2019年2月25日
参加者	46名（新入会員12名）丸の内ポールスター

6) 他団体・会員活動 協会名義後援事業

i) 他団体

- ・公益財団法人 日本美術連盟
「第30回高松宮殿下記念世界文化賞」受賞記念建築講演会
- ・特定非営利活動法人 フェーズフリー建築協会
第3回 フェーズフリー住宅デザインコンペティション
- ・R&R 建築再生展 2019 組織委員会
「R&R 建築再生展 2019」
- ・オカムラデザインスペース R
第16回企画展 「Sametheticー身体性ー」

ii) 会員

- ・中村茂幸会員
「いりや KOUBO 大賞展」
- ・野口真理会員
「2018 CAF ネビュラ展」
- ・松井エイコ会員
「松井エイコ壁画展」
- ・石丸繁子会員
「石丸繁子書道展」(松山)、
- ・吉田佑子会員
「吉田佑子展」

7) 各委員会による実施事業報告

別紙参照 (P 9 ~ 1 4)

8) 会勢報告 (通常総会開催日)

	個人会員	法人会員	名誉会員
設 立 時	1 4 3	3 0 (議決権無し)	3
平成 元年度	2 1 4	8 5 (")	3
平成 2 年度	3 3 6	1 2 1 (")	4
平成 3 年度	4 4 0	1 3 5 (")	4
平成 4 年度	5 3 2	1 6 4 (")	4
平成 5 年度	5 5 8	1 7 5 (")	4
平成 6 年度	5 9 4	1 5 7 (")	3
平成 7 年度	5 9 2	1 6 0 (")	3
平成 8 年度	5 9 4	1 6 9 (")	2
平成 9 年度	5 9 1	1 6 4 (")	2
平成 1 0 年度	5 9 7	1 6 1 (")	1
平成 1 1 年度	5 9 0	1 5 9 (")	1

平成12年度	570	142(〃)	1
平成13年度	509	122(〃)	1
平成14年度	493	120(〃)	1
平成15年度	498	120(〃)	1
平成16年度	430	110(〃)	0
平成17年度	444	110(〃)	0
平成18年度	443	88(〃)	0
平成19年度	402	83(議決権付与)	0
平成20年度	371	81(〃)	0
平成21年度	348	86(〃)	0
平成22年度	363	73(〃)	0
平成23年度	325	71(〃)	0
平成24年度	296	66(〃)	0
平成25年度	274	62(〃)	4
平成26年度	249	66(〃)	3
平成27年度	254	75(〃)	4
平成28年度	265	98(〃)	4
平成29年度	266	110(〃)	4
平成30年度	263	109(〃)	4

9) 2017・18年度役員(理事・監事) 職業は2017年6月選任時
(任期 2017年6月8日より2019年通常総会前日まで)

会長(理事)	岡本 賢	建築家
副会長(理事)	岩井光男	建築家
副会長(理事)	岡 房信	建築家
副会長(理事)	安河内敦子	(株)意匠計画 代表
理事(専務)	東條隆郎	東條隆郎建築都市設計室
理事(常務)	大野 勝	(株)佐藤総合計画 取締役専務執行役員
理事(常務)	森 暢郎	(株)山下設計 特別顧問
理事	大成 浩	彫刻家
理事	尾崎 勝	鹿島建設(株)専務執行役員建築設計本部長
理事	亀井忠夫	(株)日建設計 代表取締役社長
理事	川瀬俊二	(株)梓設計 顧問
理事	斎藤公男	日本大学名誉教授
理事	芝山哲也	大成建設(株) 常務執行役員
理事	菅 順二	(株)竹中工務店 常務執行役員
理事	日置 滋	建築家 東京工業大学副学長
理事	平山健雄	光ステンド工房 代表
理事	本 耕一	森ビル(株) 顧問

理事	米林雄一	東京藝術大学 名誉教授	
理事	六鹿正治	(株)日本設計 取締役会長	
理事	石田真人	日本建築美術工芸協会 事務局長	
			(以上 計 20 名)
監事	森田高年	不二窯業(株) 顧問	
監事	中村弘子	ガラス工芸家	(計 2 名)

(2017年1月24日開催の2017年度第五回理事会において、川瀬専務理事より申し出のあった「専務理事退任届」により 東條隆郎理事に専務理事を委嘱する旨決議された。)

10) 2018年度 企画運営会議・委員会委員

(2019年3月末現在、委員は50音順、*印は法人会員)

<企画運営会議>

議長 岡本 賢 (会長)

岩井光男 (副会長)、岡 房信 (副会長)、安河内敦子 (副会長)、
東條隆郎 (専務理事)、大野 勝 (常務理事)、森 暢郎 (常務理事・倫理委員長)、
芝山哲也 (理事・会員増強委員長)、平山健雄 (理事・展覧会委員長)、
本 耕一 (理事・シンポジウム委員長)、石田真人 (理事・事務局長・総務委員長)、
森田高年 (監事)、中村弘子 (監事)、可児才介 (表彰委員長)
坂上直也 (情報文化委員長)、南 三一郎 (調査研究委員長)、
廣角京一* (会員交流委員長)、小谷純造* (講演会委員長)
立石博巳 (フォーラム委員長)、飯田郷介* (広報委員長)
村松映一 (街なかミューゼ活動特別委員会委員長)

<常置委員会>

表彰委員会 (協力理事 岩井光男)

委員長 可児才介、副委員長 六鹿正治*
委員 岩井光男、大野 勝、岡本 賢、

調査研究委員会 (協力理事 東條隆郎)

委員長 南 三一郎、副委員長 小野寺優元、
委員 伊藤五恵、犬飼三千子、佐藤建吉、七字祐介、高柳登美、
立石博巳、増田憲治*、山本 誠、吉田佑子、

情報文化委員会 (協力理事 岡本 賢)

委員長 坂上直哉、副委員長 露口典子
委員 置鮎早智枝、高橋圭太郎*、立松直樹、中川一人、中島三枝子、中村仁美、
藤田益一、吉川盛一、吉野ヨシ子、

景観シンポジウム委員会（協力理事 岡 房信）

委員長 本 耕一、副委員長 小谷純造*、島本健司*、高柳登美、
委員 東條隆郎、日置 滋、
SD 山下博満、

会員交流委員会（協力理事 岡 房信）

委員長 廣角京一*、副委員長 青木 崇*、白石健二*、二本柳 敏*、
委員 飯田郷介*、阿部功嗣*、青木勇弥*、高根喜一郎*、
SD 松隈 章*、和出知明*、小見山信巳*、

文化事業委員会（協力理事 芝山哲也）

委員長 小谷純造*、副委員長 島本健司*、堀 剛*、二本柳 敏*、
コアスタッフ
秋山光和*、上原政幸*、木村慶太、藏田 寛、佐藤 誠*、清水康之*、
鈴木 聡、立石博巳、沼田健一*、常松欽治*、富田順三*、中島康友*、
福富空男*、堀田 誠*、山崎賢治、柳沼正典*

フォーラム委員会（協力理事 日置 滋）

委員長 立石博巳、副委員長 池田明彦*
委員 飯田郷介、石垣 健、大成 浩、齋木慶一、田島一宏、津野恵美子、
中野恵美子、中村茂幸、松本治子

展覧会委員会（協力理事 安河内敦子）

委員長 平山健雄、副委員長 山崎輝子、
委員 岩井光男、帛屋 正、須齋尚子、中島クミ、松田靜心、宮本正信*、
村松映一、山極裕史、山崎和子、米林雄一、

広報委員会（協力理事 岩井光男）

委員長 飯田郷介*
会報担当副委員長 野口真理、
委員 五十嵐通代、石田真人、田島一宏、山下治子、
HP担当副委員長 田上秀司、
委員 工藤康博、森田高年、安河内敦子、山崎和子、
広報企画担当委員 置鮎早智枝、竹生田 正、松本治子、三上紀子、
記念誌 担当委員 石田真人、中村弘子、山崎輝子、

総務委員会（担当理事 東條隆郎）

委員長 石田真人、副委員長 立石博巳、
委員 稲葉亘快、岩井光男、工藤康博、二本柳 敏*、松本哲夫、
森 暢郎、安河内敦子、

<特別委員会>

協会賞選考委員会

委員長 古谷誠章、副委員長 可児才介、
委員 岡本 賢、川上喜三郎、斎藤公男、近田玲子、東條隆郎、藤江和子、
堀越英嗣、宮城俊作、米林雄一、

倫理委員会

委員長 森 暢郎
委員 石田真人、岩井光男、森田高年、

会員増強委員会

委員長 芝山哲也、
委員 石原智也*、太田博章*、川瀬俊二、尾崎 勝*、立石博巳、土屋照雄*、
東條隆郎、浜田 優*、松本哲弥、

30周年記念事業準備委員会

委員長 岩井光男、
副委員長 飯田郷介*
記念誌編纂副委員長 本多 陽、
委員 各委員会委員長、

街なかミュゼ活動特別委員会

委員長 村松映一
委員 大西美展* 帛屋 正、安河内敦子、

以上

7) 委員会による30周年記念事業実施報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

常置委員会	実施事業	月/日	概要
表彰委員会	第27回AACA賞 受賞者紹介の集い 第1回	4/24	場所：サンゲツ品川ショールーム 参加：68名 近畿大学 ACADEMIC THEATER：畠山文聡・岡 俊徳 一華寺 無尽塔：宮森洋一郎 洗足池の家/MONOLITH：城戸崎博孝 特別養護老人ホーム 成仁ハウス 百年の里：内藤将俊
	第27回AACA賞 受賞者紹介の集い 第2回	6/4	場所：サンゲツ品川ショールーム 参加：70名 ニフコ YRP 防爆棟・実験棟：越野達也 桐朋学園大学 調布キャンパス1号館：笹山恭代 星のや東京：清水 聡・東 利恵 四国八十八ヶ所へんろ小屋 プロジェクト：歌 一洋
	第28回AACA賞 表彰事業	7/1～ 12/12	AACA賞・芦原義信賞(新人賞) 応募総数 41作品 公開審査(現地審査)作品 15作品 表彰作品 8作品 受賞作品発表 12/12 平成30年度 設立30周年特別記念会 (別掲)
	応募作品写真集	3/28	発刊
調査研究委員会	30周年記念 講演会	7/10	第1回「パブリックプレイスとアート」 行政・アートディレクター・アーティスト3者の立場から 場所：糖業協会ホール 参加 56名 講師：桂 有生 (横浜市都市デザイン室) 山重徹夫 (アート・ディレクター) 浅見俊哉 (アーティスト)
		3/19	第2回「地域にねざした文化芸術活動・宇都宮」 場所：糖業協会ホール 参加 62名 講師：中川 武 (建築史家・博物館明治村館長) 藤原宏史 (建築家)
	研究テーマ	通年	「パブリックプレイスとアート」 分科会 1, バランス創造科学と人の心に科学 2, エコロジーとアート 3, 地域風土に根ざした文化芸術活動 4, 評価・政策システム
情報文化委員会	30周年記念 座談会	11/30	「市中の山居」 場所：東京藝術大学・第三講義室 参加 141名 講師：内藤 廣 (建築家) 三谷 徹 (ランドスケープアーキテクト) 坂上直哉 (アーティスト)
	研究テーマ	通年	東北三地域 その後のフォローアップ 日本文化に根ざした文化継承の手段・システムの研究
	地域文化の調査	1/20	三鷹七福神巡り
景観 シンポジウム 委員会	30周年記念 景観シンポジウム 第一回	10/1	「ローカリティ-を魅せるしつらえ」 場所：日本大学理工学部駿河台キャンパスCSTホール 参加 147名 第一部 講演 基調講演 進士五十八 (福井県立大学学長) 第二部 講演・パネルディスカッション 宮城俊作 (PLACEMEDIA Landscape Architects Collaborative) 平賀達也 (ランドスケープ・プラス代表) 原田麻魚 (MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO) 鷺田めるろ (キュレーター)

<p>景観 シンポジウム 委員会</p>	<p>30周年記念 景観シンポジウム 第二回</p>	<p>2/20</p>	<p>「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る」 場所：日本大学理工学部駿河台キャンパスCSTホール 参加 223名 第一部 講演 陣内秀信（建築史家・法政大学特任教授） 中島直人（都市計画家・東京大学准教授） 三浦 展（マーケティングアナリスト） 松沢えり子（銀座街づくり会議事務局長） 第二部 パネルディスカッション 陣内秀信、中島直人、三浦 展、松沢えり子、 坂本博之（鹿島建設株式会社） 畑野 了（株式会社 日建設計） 山本 実8大成建設株式会社）</p>
<p>文化事業 委員会</p>	<p>30周年記念 第61回 講演会 連続講演会①</p>	<p>10/24</p>	<p>「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る -GINZA SIX-」 場所：サンゲツ品川ショールーム 参加 55名 講師 米田浩二（鹿島建設株式会社） 坂本博之（鹿島建設株式会社）</p>
	<p>30周年記念 第62回 講演会 連続講演会②</p>	<p>11/20</p>	<p>「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る -東急プラザ銀座-」 場所：サンゲツ品川ショールーム 参加 68名 講師 畑野 了（株式会社 日建設計）</p>
	<p>30周年記念 第63回 講演会 連続講演会③</p>	<p>12/17</p>	<p>「～銀座～これからの都市景観のあり方を探る -GINZA PLACE-」 場所：サンゲツ品川ショールーム 参加 63名 講師 山本 実（大成建設株式会社）</p>
<p>会員交流 委員会</p>	<p>生誕100年記念 芦原義信記念杯</p>	<p>5/25</p>	<p>第49回 芦原義信記念杯 参加者 26名 場所：ニュー南総カントリークラブ（市原市）</p>
	<p>30周年記念 美味しい美術館 見学会</p>	<p>6/8</p>	<p>第50回 芦原義信生誕100年記念杯 参加者 32名 場所：富士国際ゴルフ倶楽部（小山町）</p> <p>国立佐倉歴史民俗博物館、DIC川村美術館、佐倉市立美術館、 参加者 35名</p>
	<p>30周年記念 建物視察会</p>	<p>12/7 ～8</p>	<p>第13回 aaca山梨・静岡地区建物視察会 参加者 35名 視察建物 山梨文化会館、山梨県立図書館、山梨県立美術館、 富士ハーネス、世界遺産センター、葦山反射炉、 草薙体育館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、 ROKIグローバルイノベーションセンター、</p>
<p>フォーラム 委員会</p>	<p>30周年記念 aaca フォーラム</p>	<p>5/23</p>	<p>第193回フォーラム 「日本の布づくりと建築空間との関わり」 講師：須藤玲子（テキスタイルデザイナー） 場所：サンゲツ品川ショールーム 参加 85名</p>
		<p>11/20</p>	<p>第194回フォーラム 「ステンドグラスの本質～パブリックアートとしての展望～」 講師：平山健雄氏（ステンドグラス作家） 会場：サンゲツ品川ショールーム 参加 64名</p>
		<p>3 /27</p>	<p>第195回フォーラム 「AI時代の手の仕事」 講師：大橋正芳（東京都現代美術館 学芸員） 会場：サンゲツ品川ショールーム 参加 53名</p>

展覧会 委員会	30周年記念 企画展	7/3 ～9	<p>「BOX展」</p> <p>会場：建築会館ギャラリー</p> <p>テーマ 「-30cm×30cm×30cmの空間を遊ぶ-」</p> <p>実行委員長 山崎和子</p> <p>出展作家 47名 出展作品 50作品</p> <p>最優秀賞 「A planet ある惑星」 鈴鹿しげみ(一般)</p> <p>優秀賞 「界自由」 二木啓子(一般)</p> <p>「発芽」 大谷美智子(一般)</p> <p>佳 作 「記憶」 川口 満(一般)</p> <p>「"Light"from a certain woman」 須齋尚子(一般)</p> <p>「バタフライ エフェクト」 まつい由美子(一般)</p> <p>特別賞 「紙一枚の可能性」 川端梨太(一般)</p> <p>オーディエンス賞 「IMA 生きる」 星 素子(会員)</p>
		10/18 ～25	<p>第五回 「街に飛び出す作品展」</p> <p>会場 建築会館ギャラリー・イベント広場</p> <p>共催 スターツCAM株式会社</p> <p>テーマ アートで街の景観創造</p> <p>実行委員長 安河内敦子</p> <p>出展作家 46名 出展作品 63作品</p> <p>出展作品より「街中ミュゼ」推薦(計画地建築主選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文京区湯島3丁目プロジェクト 2作品 ・世田谷区中町1丁目計画 2作品 ・おおたかの森C68街区 2作品 ・舟橋やつやエステート計画 2作品
広報委員会	30周年記念 会報80号	7/1	<p>表紙「東京オリンピック駒沢公園体育館・管制塔」設計 芦原義信</p> <p>芦原義信生誕100年を迎えて</p> <p>正統なモダニズムの継承者 芦原義信(1) 飯田郷介</p> <p>会報80号に寄せて</p> <p>岡本 賢会長にお聞きする 広報委員会</p> <p>今は懐かしい思い出に・・・ 高部多恵子</p> <p>時代の華一輪</p> <p>建築と美術工芸の融和とその公共調達システムの改善 仙田 満</p> <p>会員活動レポート</p> <p>彫刻ワークショップを通じた交流 堤 一彦</p> <p>バスケットリーの造形から見えるもの 神 芳子</p> <p>インドネシアでの文化交流を通じて ノグチミエコ</p> <p>人と物と場について考えながら 岡本直江</p> <p>平成29年度AACAA賞</p> <p>「優秀賞」一華寺 無尽塔 宮森洋一郎</p> <p>「特別賞」洗足池の家/MONOLITH 城戸崎博孝</p> <p>「奨励賞」特別養護老人ホーム 成仁ハウス 百年の里 内藤将俊</p> <p>AACA賞受賞者紹介の集い開催報告 可児才介</p> <p>委員会活動報告</p> <p>192回aacaフォーラム開催報告 フォーラム委員会</p> <p>「現代アートをめぐるいくつかの問い」 藪前知子</p> <p>伊藤豊雄設計作品見学・東京工科大学訪問報告 広報委員会</p> <p>平成29年度通常総会 総務委員会</p> <p>記念講演 「私と芦原義信先生」 澄川喜一</p> <p>「文化庁新進芸術家海外派遣制度に内定して」 中島達哉</p> <p>30周年記念事業実行委員会だより・事務局だより・新入会員</p>

<p>広報委員会</p>	<p>30周年記念 会報81号</p> <p>10/30</p>	<p>表紙「武蔵野美術大学キャンパス」設計 芦原義信 芦原義信生誕100年を迎えて 正統なモダニズムの継承者 芦原義信(2) 飯田郷介 時代の華一輪 「時代の華一輪」 懐古そして未来 広報委員会 松本哲夫会員にお聞きする ” 「aacaとのお付き合いも、いつの間にか50年」 会員活動レポート 智を以って策を練り 美を以って術を成す 高木久美 現代アートとしてのガラスの可能性 中島クミ 空間におけるテキスタイル作品の制作について 雨山智子 香港「志蓮浄苑」の思い出 黒谷宗弘 法人会員の企業活動を訪ねる コクヨ株式会社を訪ねて 広報委員会 第2回BOX展 BOX展実行委員会 開催報告 山崎和子 審査講評 南 三一郎 BOX展に参加して 鈴鹿しげみ(美術家) 川端梨太(埼玉県立新座総合技術高等学校) 受賞作品 8 作品・出展作品 50作品・出品者 47名 委員会活動報告 193回aacaフォーラム開催報告 フォーラム委員会 「日本の布づくりと建築空間との関わり 須藤玲子」 30周年記念講演会(第一回)開催報告 調査研究委員会 「パブリックプレイスとアート」 「第8回フランス古典技法によるステンドグラスパネル展及び 講演会「日本福音ルーテル日吉教会ステンドグラスの修復」 に参加して 広報委員会 設立30周年記念事業(2018年11月～2019年4月) 30周年記念事業実行委員会 表彰委員会だより、事務局だより、訃報(本間敏雄会員)、編集後記、</p>
	<p>30周年記念 会報82号</p>	<p>表紙「東京芸術劇場」設計 芦原義信 平成30年度 設立30周年特別記念会・功労賞表彰式 第28回 日本建築美術工芸協会賞発表・表彰式 会長挨拶 岡本 賢、 来賓祝辞 軸丸真二、古谷誠章、六鹿正治、山本 卓 30周年特別表彰 会員功労：中島昌信、澄川喜一、飯野毅一、宇津野和俊、 仙田 満、松本哲夫、村松映一、中島三枝子、 坂上直哉、 事業活動支援：スターツCAM株式会社 会場支援：AGC株式会社・AGCスタジオ、株式会社 サンゲツ、 永年勤続表彰：浅野井尚子 記念講演「建築家 芦原義信がのこしたもの」 芦原太郎 記念演奏「菩提樹」 「ダス、ワンデル」 日本建築学会 楽友会 男声合唱団(AIJmc) 指揮 関口直仁 ピアノ 岸 美奈子 第28回 日本建築美術工芸協会賞 発表 審査講評及び受賞作品発表 選考委員長 古谷誠章</p>


<p>広報委員会</p>	<p>30周年記念 会報82号</p>		<p>第28回 日本建築美術工芸協会賞 表彰式 AACA賞 「出島表門橋」 // 優秀賞 「越後妻有文化ホール・十日町中央公民館(段十郎)」 // 奨励賞 「川崎技術開発センター」 // 奨励賞 「伊根の舟屋」 // 特別賞 「薬師寺食堂」 芦原義信賞 「梅郷礼拝堂」 30周年記念美術工芸賞 「越後妻有文化ホール・十日町中央公民館(光織り)」 日本建築美術工芸賞を受賞して AACA賞 「出島表門橋」 渡邊竜一 芦原義信賞(新人賞) 「梅郷礼拝堂」 加藤詞史 AACA優秀賞 「越後妻有文化ホール・十日町中央公民館(段十郎)」 永池雅人・鈴木教久・加藤洋平 // 奨励賞 「川崎技術開発センター」 大森 晃 // 奨励賞 「伊根の舟屋」 京谷友也 // 特別賞 「薬師寺食堂」 野田隆史 時代の華一輪 飯野毅一会員にお聞きする 広報委員会 会員活動レポート 今振り返るー仕事・アートと趣味…そして 柏尾 栄 「ジャポニズム2018：響き合う魂」に参加して 高橋幸子 委員会活動報告 194回aacaフォーラム開催報告 平山健雄 記念座談会「市中の山居」 坂上直哉 第13回建物視察会を案内して 早津和之 感性を刺激するワークスペースの創造 小堀哲夫 事務局だより、編集後記、</p>
<p>総務委員会</p>	<p>平成30年度 通常総会</p>	<p>6/7</p>	<p>議案 第一号議案 平成29年度事業の審議 第二号議案 平成29年度決算の審議 第三号議案 長期会費滞納者の取り扱いの審議 報告 平成30年度事業計画・事業予算 講演 「わたしと芦原義信先生」 澄川喜一 「文化庁新進芸術家海外派遣制度に内定して」 中島達哉 懇親交流会 出席者 80名</p>
	<p>2018年度 設立記念会</p>	<p>12/12</p>	<p>設立30周年記念特別記念会 来賓 文化庁 政策課文化発信室 室長 軸丸真二様 一般社団法人 日本建築学会 会長 古谷誠章様 公益社団法人 日本建築家協会 会長 六鹿正治様 一般社団法人 日本美術家連盟 会長 山本 卓様 設立30周年特別功労者表彰式 永年勤続者表彰式 設立30周年 特別講演「建築家 芦原義信が残したもの」 特別演奏「菩提樹」「ダス、ワンデル」 第28回AACA賞・芦原義信賞・美術工芸賞発表及び表彰式 受賞者表彰、作品プレゼンテーション 懇親交流会 出席者 150名</p>
	<p>役員・委員会委員 新入会員</p>	<p>8/27 2/25</p>	<p>理事・監事・委員会委員長・委員・新入会員 夏季交流会 参加者 47名 丸の内ポールスター 新春交流会 参加者 46名 丸の内ポールスター</p>
	<p>2018R&R 建築再生展</p>	<p>6/2~4</p>	<p>第28回AACA賞・芦原義信賞 ポスター展示 場所：東京ビッグサイト</p>


特別委員会	実施事業	月/日	概要
協会賞 選考委員会	第28回 A A C A賞 芦原義信賞(新人賞) 30周年記念美術工芸賞	7/1~ 12/12	応募総数 45作品 公開審査(現地審査) 12作品 表彰作品 7作品 受賞作品発表 12月12日 2018年度設立30周年特別記念会
倫理委員会	個人情報保護法 改正への対応	通期	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法改正に伴う会員情報について、管理規定を作成し管理責任者を選任し運用。 法人会員に対し、次年度会費請求書送付の際変更届を同封し、会員情報の更新をした。
会員増強 委員会	個人会員 法人会員 の増強	通期	<ul style="list-style-type: none"> 協会賞受賞者・展覧会入選者の入会制度の確認 30年度新規入会者 個人会員 26名 法人会員 7社 会員証給付と会員サービスシステムの充実を図る 青年部会(仮称)の創設へ向け環境を整備する。
30周年記念 事業 実行委員会	設立30周年 記念事業 の実施推進	通期	<ul style="list-style-type: none"> 記念事業の実施に伴い各委員会との連携強化。 協賛金の要請と目標額の確保。 記念誌の発刊・事業報告書の準備
街なか ミュゼ活動 特別委員会	街なかミュゼ活動 環境の整備	通期	<ul style="list-style-type: none"> 設置希望プロジェクトの確認と関係者との調整 貸与・買い上げ等の法的手続きの確認
	会員支援の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 展覧会への出品経費の補填 設置及び返却に伴う経費の補填

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本建築美術工芸協会
会長 岡本 賢 殿

2019年5月 16日

監事 森田高年 

監事 中村弘子 

私たちは、2018年4月1日から2019年3月31日迄に於ける会計及び業務について監査を行いました。

監査の結果、計算書類は適正でありかつ理事の業務執行の状況は、適切であると認めました。

以 上

3. 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

平成30年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人日本建築美術工芸協会
会長 岡本 賢 殿

私たち監事は、当協会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、第124条第1項、(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第条199条において準用する同法第124条第1項)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本監査報告書を作成し以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を開覧し法人事業所において公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について、検討いたしました。

2. 監査の結果

当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

平成31年5月16日

監事 森田高年 

監事 中村弘子 